

第3回防府市庁舎建設懇話会懇話会 意見まとめ

まちづくり・活性化

1	意見書	大会等で他市を訪れたとき、新しい立派な公共施設ができているのを見る。財源も考えなければならないが、市庁舎建設が市の活性化の起爆剤になればと思う。
2	意見書	公会堂などの集客的公共施設については、市街地の活性化に寄与するものが大きいため、早急に市街地の再開発の中で方向性を定める。

交通インフラ

3	意見書	建設場所によっては駐車場の広さも必要になるが、高齢者が増えることを考えればバス、タクシーの利用や利便性を考えそれに伴うサービスも考える必要がある。
---	-----	---

集約化と分散化

4	意見書	新庁舎は、議会棟を含めた1棟にまとめる。消防本部庁舎の統合はできないので、災害対策時における新庁舎と消防本部間に双方向性ホットラインの充実を図る。
---	-----	---

財源等

5	懇話会	財源は極めて重要な現実であり健全財政がよいのは間違いないが、財源を出発として考えると縮小均衡したものになってしまう。人口減少に歯止めを掛けるまちづくりを進めていく上で何か夢を託すようなものが必要ではないか。市庁舎建設や中心市街地活性化などにより地域に勢いがあれば、財政も成長戦略が描けるのではないか。
6	懇話会	いろいろな機能を網羅した他市の庁舎がどの程度の事業費で建設されているかが分かれば参考になるのではないか。
7	懇話会	ロンドンの市庁舎は太陽光エネルギーの活用などによりエネルギーをほとんど使わない工夫がされている。建設費が多少高くても維持管理費が非常に安ければ長期的に見れば財政的負担が少なくなる。使えるお金は限られているので、ライフサイクルコストを考えて維持管理費を抑えるアイデアが必要。環境負荷を考える上でも大事だと思う。
8	意見書	公会堂機能やマンション住宅等を内包した庁舎となれば従来の予算では対応できない。広く市民も含む民・官共同出資の株式会社を設立して公会堂等のイベント多目的ホール、住宅、商店等の営利部分、あるいは市庁舎全体を建設し、経営・運営する方式を検討してはどうか。
9	懇話会	財源のひとつとして以前公募債について話した。ふるさと納税のように「私は市庁舎の建設を応援したいです」といった項目を付けるなどして市民の方に理解いただきたい。

機能（全般的なもの）

10	懇話会	さまざまな利用ができるパブリックスペースがあり、そこにいろいろな行政のサービスを行う窓口がある、市庁舎にというよりはそういったスペースに市の業務もあるというのがよいのではないかと。
11	懇話会	市役所は用事があるから行くところというイメージが強いが、諸団体や市民が市役所に行って何かをしようというように市役所を使うということになればイメージが変わると思う。
12	懇話会	市役所がどこにあろうともそこが中心市街地にならなければいけないと思う。遠くから歩いて来てもそれをあまり感じず楽しめるものになれば、市役所に用事があるから行くのではなく、市役所に行こうとなるだろう。
13	懇話会	規模や財政状況、土地の状況が違うので防府市にそのまま当てはまらないかもしれないが、紫波町や長岡市の庁舎建設の事例は参考になるのではないかと。
14	懇話会	情報化の時代でこれから市役所に行く機会ももっと少なくなると思う。市役所がどのように変わっていくと予測を立てたらよいか。ガラス張りの中で職員が働くイメージを持つか、子育て支援の充実、あるいは今の事務的な部分は市役所の支所に行けばできるようになるなど。空間をフレキシブルに使うというだけでなく将来の変化を見据えるという意味でのフレキシブルというものを考えると、個性的なものがよいかあまり個性的でない方がいいか、緊張感を持って職員が働くのがよいかそうでない方がいいかなど市役所をどのように考えた方がいいのだろうかと思う。
15	懇話会	庁舎はこれから50年以上根付いていく施設だと考えると、将来の市民のライフスタイルに合ったものでなければ結果として使いにくい施設となってしまう。将来の市民のライフスタイルや市役所との関わり方をある程度イメージし、ビジョンにして計画に映していくというアプローチをとるのがよいかと思う。
16	懇話会	人が集まりくつろげるような大規模な空間があれば、イベントで使用したり、非常時には避難場所として使用するなど多面的に活用できる。
17	意見書	一つの機能にこだわることなく柔軟な発想で考えてほしい。多機能性を重視した庁舎になればよいと思う。
18	意見書	市民が親しみを感じ集まれるロビーや市民団体が利用できる会議室を設けることはできないか。
19	意見書	現在も廊下や待合所などに椅子があり便利であるが、ロビー等のちょっとした相談ができる場所があると利用しやすく親しみももてる。
20	懇話会	下関市役所の食堂では鯨を取り入れたランチが食べられる。防府市でもそういった食堂ができれば市民も職員も利用できてよい。
21	懇話会	食堂は市民に開放するところであり、重要な位置づけになるだろう。市民がくつろげる空間や緑地、広場などと隣接させる、あるいは展望にしたらどうかなど食堂のあり方を考えることができるだろう。
22	意見書	1～2階は市民サービスカウンターとしての総合窓口、来庁者がゆとりを持って待機できるゆとりのあるエントランスフロアとし、キッズコーナーを設置する。
23	懇話会	託児室というか子育ての部屋の設置をお願いしたい。
24	意見書	市民が市政に関心を持つには、庁舎内に議場がある方がよい。議場のつくりも傍聴席を増やす、どこからでも議場が見渡せるすり鉢状にするなどの工夫がほしい。
25	意見書	子ども向けサービスの一環で学校代表の小学生・中学生・高校生会議やディベートやプレゼンテーションが議場でできると子供の関心が高くなると思う。議会だけでなく多機能に使用できるように考えてほしい。
26	懇話会	団体の会議等を開催する際に空いてる会議室を使用するためだと思うが、毎回会場案内をもらい、庁内のいろいろな会議室で開催される。関連部署ごとに市民等と会議ができる会議室というかコミュニティ室を備えるべきではないか。
27	意見書	8階程度の建物の中間層4階辺りの1階全面に会議室を集積する。ただし、各階には、来庁者との面談・業務打合せ等のための小会議室(10人程度の収容面積)を配置する。
28	懇話会	ワンフロアを大会議室や会議専用のフロアとし、部署に関係なく使用できまた広く市民も使えるような市庁舎の組立てを考えてはどうか。
29	意見書	安心安全な市民生活のためには、必要な窓口の設置、事務機能の充実や市民が利用しやすいように各課の連携も大事にしてほしい。窓口の担当者から分かりやすく教えてもらえたときはありがたいしお礼の一言が出てくる。

30	懇話会	利用する市民の動線と働く職員の事務がスムーズに行える動線とがマッチしないとスムーズな手続き移動にならないと思う。
31	懇話会	プライベートなデータを扱う部分に市民が入るとするのは控えた方がよいが、職員と市民のコミュニケーションがとれるという意味では、動線は重ならなくても視線は通るというデザインが必要だと思う。
32	懇話会	市庁舎は古く、暗いイメージ。更に、執務室は職員の顔が見えないほど机の上に書類が置かれており、声を掛けるにも気兼ねをする状況。整理整頓をすることは職員の資質の向上にもつながる。これらを解消すれば新庁舎は明るく親しみやすいものになると思う。
33	懇話会	執務室を市民が見ることによって職員に意識を持っていただき、市民が集まりやすい環境をつくっていくべき。
34	懇話会	建築的にも視線を振りながらも、市民が一目瞭然でわかる造りが可能だろう。
35	懇話会	長岡市では執務室や議会もすべてガラス張りで見える構造となっている。
36	意見書	各階の執務室は、部屋のレイアウトが変更しやすいように間仕切りのないフリースペースとする。

機能（防災・防犯・環境）

37	懇話会	市の中心部に高層のものを建て、カメラなどと繋げば大きな災害等があった場合にすぐに状況が把握できる。そういった機能を付けてはどうか。
38	懇話会	防災センター機能、災害対策本部の設置、備蓄スペースや予備電源などあらゆる災害に備え対応できる拠点としての機能を備えるべき。
39	懇話会	防災センターをつくるのは難しいと思うが、憩いの場や会議に使える場に電源を多く設置する、情報が映し出せるモニターをすばやく設置でき対応できるなど防災センターとしての機能を果たせるようなシステムをプラスして検討してはどうか。
40	意見書	庁舎敷地内に防災関連用品や水・非常食などの備蓄倉庫を配置する。
41	意見書	屋上は、大きな災害が起きたときに多くの市民が長期に避難できるような空間にしてほしい。単に空間というだけでなく、雨風をしのげる対策や物品の備蓄などが常日頃からできる場所をつくり、階段だけでなくエレベーターであがれるように。
42	意見書	屋上は、災害時の避難場所に転用できる諸設備を配置する。
43	意見書	非常時の熱源（電源を含む）確保の一端として、クリーンセンターの自家発電電力を引き込む。
44	懇話会	市民が市庁舎に来て安全だと感じられるように防犯カメラを設置するべきではないか。
45	懇話会	一般市民が来訪するスペースと行政事務スペースを分ければセキュリティ面でよいのではないか。
46	懇話会	顔が見える執務室もよいと思うが、個人情報など決して人の目に触れてはならないものについては市の業務としてしっかり担保していくことが必要だと思う。市民に何でも開放するというのではなく守るべきところと開放するところを分けて考えないといけないと思う。
47	意見書	マイナンバーの施行に伴う個人情報などの情報漏えいの未然防止が必要。
48	意見書	職員の勤務時間管理やセキュリティシステムの導入を念頭に入れてほしい。
49	懇話会	太陽光発電を充分に取り入れていただきたい。
50	意見書	太陽光や地熱などのクリーンエネルギーを活用する。

51	意見書	屋上緑化や太陽光、風力、水力発電などの低経費エコの取り入れが必要。
52	懇話会	場所にもよるが、新庁舎は植栽により緑に囲まれたものになってほしい。家族連れで楽しめる健康的な広場のようなものを兼ね備えているとよい。
53	懇話会	緑の通り抜けというか木々がびっしり茂っていてその下を通れば少々雨が降っても傘をささずに行けるといったものがあれば、夏は日差しを避けることもできる。花もあればなおよい。そういったものがあれば名物になるのではないか。
54	意見書	駐車場から庁舎まで緑の通路をという考えはすばらしいことだと思うが、後の維持管理、維持費などについても計画して実現できるように。できれば少しでもよいので実のなる木を植えて市民の楽しめる場になればと思う。
55	意見書	庁舎敷地の空間には緑を確保する。特に庁舎正面となる位置は、シンボリックな憩いの場となる緑の空間を設ける。
56	意見書	公共施設はともすると建物と駐車場ということになりがちであるが、住み良いまちづくりという観点や景観からも市庁舎の周辺には来庁者や市民が憩える緑地、緑陰もほしい。

機能（ユニバーサルデザイン）

57	懇話会	高齢者や障害がある方の駐車場、庁舎内への移動に十分に配慮すべき。
58	懇話会	税や年金の関係など市民に直接関係のある窓口は全て1階でエレベータや階段を使わなくてもサービスできるように考えてほしい。
59	意見書	庁舎内のレイアウトは、障害を持たれている方々の来庁に配慮した明るさ、通路幅、庁内案内サイン等の確保をする。（エレベータは来庁者用以外に、大型荷物運搬用も設置する。）
60	意見書	点字の案内板や文字板の案内がほしい。
61	懇話会	音声による情報が聞き取りにくい人もいるので、目で見える情報が有効だと思う。市が発令する防災メールや気象情報を庁舎内だけでなく外にいる市民にも見えるかたちがよい。

サービス

62	懇話会	一箇所の窓口で必要な書類が全部申請、交付できるシステム作りを考えてはどうか。
63	懇話会	現在、転入などの手続をする際に複数の課へ移動して手続をしないとけないが、ひとつの窓口に行けば手続きの重複がなくワンフロアの中で完了できることが必要。
64	懇話会	1階のスペースを充分確保すると共に、国、県の関係機関を含め全ての手続きができる総合窓口を備えるべき。
65	懇話会	他市でよいワンストップサービスの先進事例があると思うのでそれを取り入れることも大事だと思う。
66	懇話会	住民票をとる際にわざわざ市役所に出向いて順番をとり書類ができるまで待つということをしなくても居酒屋の注文システムのようにiPadのようなものに必要事項だけを入力して予約しておけば、時間のあるとき、時間外にでも窓口に行けば本人確認をした後に受け取れるバーチャルオフィスといったものも考えられる。最新のOA機器、あるいはペーパーレスの仕組みは民間企業の事例も参考になるのではないか。家族みんな仕事をしていてなかなか市役所に行けないというケースも多いと思うので、バーチャルで申込みなどができるようになれば、休日も例えば1階フロアだけ開放し、わずかな職員で対応して手続きできるといった視点で設計してはどうか。
67	懇話会	庁舎コンシェルジュやフロアマネージャーが常にいればコミュニケーションをとりながら案内することができる。話すのが苦手な人にはパソコンで検索等できるようなシステムを備えることも大事。
68	懇話会	公共施設マネジメントの市民アンケートでは、充実を求める公共サービスの1位、2位は子ども関係の施設、第3位が市役所となっている。市庁舎においても子供、子育て世代に充分配慮する必要があると思う。
69	意見書	少子高齢化が今以上に進んでくることが予想されているだけに、子供を大事にする、高齢者の互助の雰囲気作りや介護予防に目を向けた子供や高齢者が元気で暮らせるまちづくりも考えに入れたい。

象徴

70	懇話会	公共施設を統廃合していく上では、スクラップするものとビルドするもののメリハリが必要で、市役所をどのようなものにするかは極めて大事。周辺からでも人が集まってくるような市の象徴、自慢あるいは誇りとなるように変えていかなければいけない。財政もちろん大事だが、あえて思い切って造るということも必要ではないか。
71	意見書	改築を機に他市に比べても市民が誇れるデザインの市庁舎にすることも考えてほしい。
72	意見書	他市にない取組や斬新、柔軟な発想を取り入れてほしい。しあわせますプロジェクトとしてソフト面、人的面でのアピールを期待する。防府市観光マスコットキャラクター「ぶっちー」を活用してほしい。

駐車場

73	懇話会	箱型の市役所ができ、そこにふんだんに停められる駐車場をつくるというのが一番よくないと思う。ハンディキャップのある方やどうしても必要な人については近くに用意しなければいけないと思うが、願わくば少し離れたところに車を置いてそこから歩いて行けるとよい。何もなければ近くに車を置きたくないので、緑のエリア、商店街や飲食などがあってにぎわいをつくっていく、また、忙しい人には駐車料金がある程度高くしてでもたくさんの車が入っていくことを抑止する仕組みをつくるべき。
74	懇話会	歩いてもらうということをコンセプトとして考えると当然駐車場とセットで考えなければいけない。駐車場もしくは歩くということをどのようにとらえるかは今後基本計画を考えていく上で非常に重要なキーワードになる。十分な検討が必要だろう。
75	懇話会	駐車場は平地で何百台も停められる土地を確保することが理想的ではあるが、なかなかそうはいかないとすると空間の確保、混雑を避ける、あるいは雪や雨が降ってもさっと入れることを加味して立体駐車場を考えてもよいのではないか。
76	意見書	駐車場は平面方式と立体駐車場(議員駐車場は設けず、議会開催中のみ確保)とする。平時すべて有料とし、運営管理は民間へ。
77	意見書	駐車場管理システムを導入して駐車場の空車等の表示が必要になるかもしれない。混雑の緩和や予防策になるのではないか。
78	懇話会	今でも実施していると思うが、新庁舎では庁舎を中心に2、3キロの職員は自転車等で通勤するということを厳格にして市民中心の駐車場であるということに踏みきるべきではないか。
79	懇話会	職員の駐車場に広いスペースを確保することはもったいない。防府市には駐車場がたくさんある。これを使えばまちの活性化にもなるので、職員は自分で確保すべき。
80	意見書	駐車場は、災害時等の支援車両や緊急車両の駐車場ほか、間仕切りをして被災者の一時避難場所へ転換できるようなものとする。
81	意見書	平面駐車場は、災害時には災害ボランティアセンターへ転用する。

会議の進め方

82	懇話会	市財政状況や公共施設マネジメントの基本方針を念頭に今後の議論を進めていきたい。
----	-----	---